



カンボジア王国
国民-宗教-国王

カンボジア 2008 年人口センサス (国勢調査)

確報結果報告書 (全国編)



計画省統計局
プノンペン, カンボジア

資金提供：国連人口基金（UNFPA）、国際協力機構（JICA）、
日本国政府、ドイツ連邦共和国政府

2009 年 8 月

序文

確定人口総数及びその他の重要な統計を掲載したカンボジア 2008 年人口センサス（国勢調査）の確報結果報告書を公表することができ、誠に光栄です。これに先んじて、2008 年 8 月には、調査員が作成した要計表に基づく暫定人口総数が公表されています。暫定値の公表は、人口センサスで明らかにされた国及び州の人口規模を一般公衆に対して早期にお知らせするに行なわれました。今回の確報結果は、厳しい審査と集計を経て、人口センサスで調査された詳細な結果を公表いたします。人口総数の確定値は、暫定値と比較して僅かな違いはありますが、大きな違いはありませんでした。

計画省統計局は、約 300 万件に上る膨大な調査票を集計するという偉大な任務を成功裏に終えることができました。本報告書は人口センサスから明らかになった全般的な結果の概要を掲載しています。詳細な結果は順次刊行されます。2008 年人口センサスの確報結果の公表は、カンボジアの統計史上、重要な意味があります。ちなみに、1998 年に行なわれた前回の人口センサスは、1962 年以来 36 年ぶりに行なわれたものでした。

我々は、カンボジア王国の首相であるフン・セン閣下から、この人口センサスを成功に導く一貫した御指示をいただいたことに対して、深く感謝の意を表します。また、サー・ケン副首相（兼内務大臣、国家人口センサス委員長）を始めとして、その他の国家人口センサス委員会のメンバーには、その時々にご指導を賜り、感謝申し上げます。小職が、国家人口センサス副委員長、人口センサス技術委員長、人口センサス広報委員長及び教育キャンペーン運営委員長を務めたことは実に名誉なことでした。

各州知事並びに各州の人口センサス委員会の構成員に感謝の意を表します。人口センサスの広報に大きな役割を果たした新聞社、ラジオ局及びテレビ局に感謝します。国連人口基金（UNFPA）、独立行政法人国際協力機構（JICA）、日本国政府及びドイツ連邦共和国政府からの資金援助並びに技術支援に厚く御礼申し上げます。

人口センサスは、極めて大規模な行政活動かつ統計活動ですので、一人一人の協力があって初めて遂行できるものです。この人口センサスを成功に導いた最大の功労者は、カンボジア国民であり、また忠誠心に厚く献身的であった多くの調査員や指導員、さらに、村長並びに州、郡及びコミューンの地方行政組織における人口センサス担当職員、そして人口センサスを計画策定した計画省統計局と計画省の職員であります。

人口センサスに対する技術支援を行なった JICA プロジェクトのチーフアドバイザーである西文彦専門家を始めとして、大友篤専門家、伊藤彰彦専門家及びその他の JICA 専門家に誠に感謝いたします。

計画省統計局人口センサス課及び情報処理課の職員は、人口センサスの調査・集計を遂行するために尽力してくれました。特に、調査では、ハン・リナ副局长（人口センサス担当）、テイ・キエム人口センサス課長、ソック・コサル氏、ジェム・スン氏及びシン・スレイブス氏。また、集計では、メン・キムホー副局长及びセント・ランディ氏。彼らは、UNFPA 及び JICA による研修を経て、立派な仕事をしてくれました。これは、ドナー機関が、人口センサスの業務を通じて、国家レベルの能力向上を目指して協力してくれたという画期的な事業の成果でもあります。ソック・ヴァナ氏、チャップ・ラタナ氏は、人口センサスの作業過程を巧みに調整

してくれました。ヴィ・ヘアン氏、シュオウン・ソスィー氏、リン・ペン氏は、品質管理及び会計業務で活躍してくれました。皆に感謝します。

UNFPA のコンサルタントであるノット・ラマ・ラオ氏は、人口センサスの計画、実査、報告書作成に関し、技術支援をしてくださいました。ハリー・ロード氏は集計に関する技術支援を、グランガ・ダスヴァルマ氏はこの報告書に記載されている出生と死亡データの分析に関する技術的な支援を行なっていただきました。これらのコンサルタントの方々に感謝します。

サン・シー・タン統計局長は、局次長であるセン・スン氏、ハス・ブントン氏、ホー・ダリス氏による支援の下、人口センサスの全活動を巧みに指揮してくれました。これらの一人一人に感謝します。

カンボジアの各省庁、国際機関、研究者の方々及び一般国民がこの報告書を活用して下さることを望んでやみません。

計画省
プノンペン
2009年8月

チャーイ・トーン
上級大臣
計画省